

科名 外科 消化器50(a)

対象疾患 胃癌

プロトコール名 XELOX(胃癌)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	14	...	21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ラインキープ 残破棄可	↓				
2	点滴注	側管	グラニセロンバッグ	1mg	30分かけて	↓				
			デキサート注	9.9mg						
			ファモチジン	20mg						
			クロールトリメトン	10mg						
			又は							
3	点滴注	側管	アロキシバッグ	0.75mg	30分かけて					
			デキサート	9.9mg						
			ファモチジン	20mg						
			クロールトリメトン	10mg						
4	点滴注	側管	オキサリプラチン	100mg/m <sup>2</sup>	2時間かけて	↓				
			5%ブドウ糖液	250mL又は500mL	ルート毎変更					
内服 ゼローダ 1回1000mg/m <sup>2</sup> を1日2回 d1～d14投与、d15～d21は休薬										

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2～4にデカドロン1回4mgを1日2回朝、昼食後に内服。(8mg/day)

<ゼローダ>

14日間内服7日間休薬

1日2回内服、1回の投与量

体表面積(BSA)<1.36m<sup>2</sup>は1200mg/回(4Tab)

1.36m<sup>2</sup>≤BSA<1.66m<sup>2</sup>は1500mg/回(5Tab)

1.66m<sup>2</sup>≤BSA<1.96m<sup>2</sup>は1800mg/回(6Tab)

BSA≥1.96m<sup>2</sup>は2100mg/回(7Tab)

<オキサリプラチン>

・必ず5%ブドウ糖液で希釈。(薬効がおちる。)

・アレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。

(現在は4～16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)

・デキサートは6.6、9.9、13.2、19.8mgで選択可。